

案 1 : 全ての環境要素を記載

別表 4 環境影響評価の項目

その 1 一般道路に係る基本項目

影 響 要 因 の 区 分 環 境 要 素 の 区 分			工 事 の 実 施					土 地 又 は 工 作 物 の 存 在 及 び 供 用		
			建設機械の稼働	運行に用いる車両の運	資材及び機械の運	切土工等又は既存工作物の撤去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	道路(地表式又は掘割式)の存在	在道路(嵩上式)の存在
人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	窒素酸化物								○
		浮遊粒子状物質								○
		粉じん等	○	○						
	騒音	騒音	○	○						○
	振動	振動	○	○						○
	悪臭	悪臭								
	低周波音	低周波音(超低周波音を含む)								
	風害	風害								
	水質	水の濁り			○	○	○			
	地形及び地質	重要な地形及び地質					○	○	○	○
	地盤沈下	地盤沈下								
	土壌	土壌								
	日照障害	日照障害							○	
	電波障害	電波障害								
風車の影	風車の影									
生物の多様性の確保及び多様な自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	植物	重要な植物種及び群落とその生育地					○	○	○	○
	動物	重要な動物種及び注目すべき生息地					○	○	○	○
	生態系	地域を特徴づける生態系					○	○	○	○
人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場						○	○	
環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	廃棄物及び副産物			○					
	温室効果ガス	温室効果ガス								
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量	放射線の量								

【備考】

1. ○印は、各欄に掲げる環境要素が影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
2. この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
3. この表において「低周波音」とは、周波数が 20 ヘルツから 100 ヘルツまでの音をいう。
4. この表において「超低周波音」とは、周波数が 20 ヘルツ未満の音をいう。
5. この表において「重要な地形及び地質」、「重要な動物種」及び「重要な植物種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
6. この表において「風車の影」とは、ブレードの影が回転により地上に明暗が生じる現象（シャドーフリッカー）をいう。
7. この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
8. この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
9. この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
10. この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。
11. この表において「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。
12. 「放射線の量」については、放射線による影響の可能性が相当程度ある場合に選定するものとする。
13. この表において「切土工等」とは、切土をする工事その他の相当量の建設発生土又は汚泥を発生させる工事をいう。
14. この表において「工事施工ヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。

別表 4 環境影響評価の項目

その 1 一般道路に係る基本項目

影 響 要 因 の 区 分 環 境 要 素 の 区 分			工 事 の 実 施					土 地 又 は 工 作 物 の 存 在 及 び 供 用		
			建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	切土工等又は既存工作物の撤去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	道路(地表式又は掘割式)の存在	道路(嵩上式)の存在	自動車の走行
人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	窒素酸化物								○
		浮遊粒子状物質								○
		粉じん等	○	○						
	騒音	騒音	○	○						○
	振動	振動	○	○						○
	水質	水の濁り			○	○	○			
	地形及び地質	重要な地形及び地質				○	○	○	○	
	日照障害	日照障害							○	
生物の多様性の確保及び多様な自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	植物	重要な植物種及び群落とその生育地				○	○	○	○	
	動物	重要な動物種及び注目すべき生息地				○	○	○	○	
	生態系	地域を特徴づける生態系				○	○	○	○	
人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場						○	○	
環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	廃棄物及び副産物			○					

〔備考〕

- 印は、各欄に掲げる環境要素が影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
- この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
- この表において「重要な地形及び地質」、「重要な動物種」及び「重要な植物種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
- この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
- この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
- この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
- この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。
- 「放射線の量」については、放射線による影響の可能性が相当程度ある場合に選定するものとする。ここで、「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。
- この表において「切土工等」とは、切土をする工事その他の相当量の建設発生土又は汚泥を発生させる工事をいう。
- この表において「工事施工ヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。

[備考]

1. ○印は、各欄に掲げる環境要素が影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
2. この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
3. この表において「重要な地形及び地質」、「重要な動物種」及び「重要な植物種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
4. この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
5. この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
6. この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
7. この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。
8. この表において「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。
9. この表において「切土工等」とは、切土をする工事その他の相当量の建設発生土又は汚泥を発生させる工事をいう。
10. この表において「工事施工ヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。

案 4 : 放射線の量を追加

別表 4 環境影響評価の項目

その 1 一般道路に係る基本項目

影響要因の区分 環境要素の区分			工事の実施					土地又は工作物の存在及び供用		
			建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	切土工等又は既存工作物の撤去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	道路(地表式又は掘割式)の存在	道路(嵩上式)の存在	自動車の走行
人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気質	窒素酸化物								○
		浮遊粒子状物質								○
		粉じん等	○	○						
	騒音	騒音	○	○						○
	振動	振動	○	○						○
	水質	水の濁り			○	○	○			
	地形及び地質	重要な地形及び地質				○	○	○	○	
日照障害	日照障害							○		
生物の多様性の確保及び多様な自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	植物	重要な植物種及び群落とその生育地				○	○	○	○	
	動物	重要な動物種及び注目すべき生息地				○	○	○	○	
	生態系	地域を特徴づける生態系				○	○	○	○	
人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観						○	○	
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場						○	○	
環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	廃棄物及び副産物			○					
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量	放射線の量								

[備考]

- 印は、各欄に掲げる環境要素が影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。
- この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
- この表において「重要な地形及び地質」、「重要な動物種」及び「重要な植物種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
- この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
- この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
- この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
- この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。
- この表において「放射線の量」とは、空間線量率等によって把握されるものをいう。
- 「放射線の量」については、放射線による影響の可能性が相当程度ある場合に選定するものとする。**
- この表において「切土工等」とは、切土をする工事その他の相当量の建設発生土又は汚泥を発生させる工事をいう。
- この表において「工事施工ヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。

